

管区事務所  
〒162-0805  
東京都新宿区矢来町65番  
電話 (03)5228-3171  
FAX (03)5228-3175

# 日本聖公会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE  
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku  
Tokyo 162-0805, Japan  
Tel. 81-3-5228-3171  
Fax. 81-3-5228-3175

**アル・アハリ聖公会病院の爆撃に強く抗議し、イスラエルとハマスの即時停戦を求め、犠牲となった人々の魂の平安と平和のために祈りと連帯を求めます。**

「わたしは神が宣言なさるのを聞きます。主は平和を宣言されます／御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に／彼らが愚かなふるまいに戻らないように。」(詩篇 85:9)

パレスチナでハマスとイスラエルの間で戦争が起こりました。とても悲しいことです。イスラエルとパレスチナの戦闘は、イスラエルがパレスチナに建国した時に始まります。第2次世界大戦中のナチス・ドイツによるユダヤ人虐殺に世界は同情し、1948年、国連はイスラエル建国を認めました。イスラエル建国では、先住民であるパレスチナ人を戦争、暴力、法律で迫害、虐待し、多くの国内難民が出ました。

その後、イスラエルは自ら生み出したパレスチナ人国内難民への圧政を強めてきました。それがパレスチナ自治区ヨルダン川西岸地区へのイスラエル人入植であり、ガザ地区を取り巻く高い隔離壁です。イスラエルによりガザ地区の住民は隔離壁の中に閉じ込められ、食料、燃料、医薬品などの搬入も制限され、外の世界と自由に往来が出来ません。隔離壁が、「天井のない監獄」だとか「世界最大の監獄」だと言われて所以です。

今、ハマスのイスラエル攻撃が起こり、それに対してイスラエルからガザ地区への爆撃が繰り返されています。その中でアル・アハリ聖公会病院が爆撃され、大勢の犠牲者を出しました。アル・アハリ聖公会病院は日本聖公会も支援をしてきた病院です。犠牲者の中には、女性や子ども、老人など、直接に戦争に加担していない一般住民も含まれます。

イスラエルがガザ地区へ侵攻すれば、何万人もの犠牲者が出ると予想されています。10月18日には国連は安全保障会議を開き、イスラエルとハマスのガザ地区での紛争を一時停止し、ガザ地区避難民の人道支援を求める決議案の採択を求めました。しかし、イスラエル支持をしているアメリカが拒否権を行使したために採択できませんでした。本当に悲しいこと、残念なことです。

日本聖公会は、戦後50年目の1995年に宣教協議会を開き、過去の戦争に加担してきた過ちを告白し、翌年の第49(定期)総会において「聖公会の戦争責任に関する宣言」を決議しました。

以来、世界のあらゆる戦争や争いに反対し、平和を願い求めてきました。戦争で犠牲となるのは、力のない女性、子ども、老人、障害者など弱く小さくされている人たちです。イエスさまは、「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイ 25:40)と仰っておられます。私たちの立ち位置は明らかです。小さく弱くされている人々の所、そこにイエスさまがおられます。その所に、私たちが心を寄せていくのです。

私たちは、アル・アハリ病院の爆撃に強く抗議し、イスラエル、ハマスの爆撃により犠牲となった人々の魂の平安を祈り、人質となっている人々の即時解放、即時停戦を求めます。私たちは連帯して戦争へ反対し、平和と正義の実現を求めて共に祈りましょう。

2023年10月20日

日本聖公会 首座主教

主教 武藤謙一

日本聖公会 正義と平和委員長 主教 上原榮正